

令和6年4月30日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 藤 池 俊

令和5年度 赤穂市立海洋科学館の事業報告について

赤穂市立海洋科学館指定管理者管理運営基準に基づき、令和5年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



海洋科学館 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

開館日数 307日

区分	常設			展			特別展			合計	
	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	
個人	大人 200	7,931	1,586,200	大人 300	1,683	504,900	9,614	2,091,100			
	小中学生 100	2,265	226,500	小中学生 150	725	108,750	2,990	335,250			
団体	大人 160	5,415	866,400	大人 240	1,125	270,000	6,540	1,136,400			
	小中学生 80	1,619	129,520	小中学生 120	538	64,560	2,157	194,080			
減	大人 120	101	6,060	大人 180			101	6,060			
	小中学生 60			小中学生 90							
免	大人 100	484	48,400	大人 150	114	17,100	598	65,500			
	小中学生 50	131	6,550	小中学生 75	60	4,500	191	11,050			
団体	大人 80	2	80	大人 120	12	1,440	12	1,440			
	小中学生 40			小中学生 60	21	1,260	23	1,340			
100%	大人 60			大人 90							
	小中学生 30			小中学生 45							
特別利用券利用者	大人	896		大人	250		1,146				
	小中学生	2,012		小中学生	512		2,524				
赤穂観光パスポート	大人	6		大人	39		45				
	小中学生			小中学生							
合計	通りやんせ	30	(@120×83) 9,960	通りやんせ			30	9,960			
	大人	14,762	2,510,960	大人	3,223	793,440	17,985	3,304,400			
合計	小中学生	6,130	368,710	小中学生	1,856	179,070	7,986	547,780			
	計	20,892	2,879,670	計	5,079	972,510	25,971	3,852,180			

(赤穂観光パスポートの入館料収入は、常設展にまとめて計上した。)

特別展、企画展等の開催

海洋科学館

特別展

期 間 令和5年7月21日（金）～8月31日（木）  
 名 称 「恐竜時代の海の生物・化石展」  
 内 容 笠岡市立カブトガニ博物館及び惣路紀通氏所蔵の化石の中から、中生代の海を支配していたモササウルス類を中心に、三畳紀・ジュラ紀・白亜紀に生きた海棲生物の化石類を厳選し展示する。  
 入館者数 5,067人

塩の国 塩田案内人(ボランティア)による案内 延べ64回 1,064人  
 釜焚き実演見学22回 塩田作業体験(小学生校外学習)9回

科学館の指導普及事業

(1) 運営協力会の開催

委員数 15名  
 開催日 第1回 令和5年4月29日(土)  
 第2回 令和5年7月29日(土)  
 第3回 令和6年2月3日(土)

(2) 科学教室の開催

名 称 「子ども科学教室」

内 容

	テ ー マ	開 催 日 時
第1回	開講式・塩づくり体験 「顕微鏡で見るミクロの世界」	5月27日(土) 9:00～12:00
第2回	「蝶の標本づくりと鱗粉の観察」	6月17日(土) 9:00～12:00
第3回	施設見学(県立人と自然の博物館)	9月16日(土) 8:10～16:00
第4回	天体観測会 ※当初の予定10月7日から延期	11月18日(土) 17:30～20:00
第5回	自然観察会 「ドングリについて知ろう」	11月4日(土) 9:00～12:00
第6回	バードウォッチング 「野鳥がすむ環境を守ろう」	1月13日(土) 9:00～12:00
第7回	「色素増感型太陽電池の実験」 閉講式	2月3日(土) 9:00～12:00

指導者 海洋科学館運営協力会委員  
参加者 市内小学4年生～6年生 28名

(3) 夏屋台実験教室の開催

名称 「サイエンス寺子屋」

開催日 7月30日(日)

内容

NO	ブース(屋台)名
1	空飛ぶ鼓
2	トレジャーハンティング PartVII
3	CD分光器と太陽H $\alpha$ 光観察
4	葉っぱの透ケルトン
5	ゆらゆらバード やじろべえ
6	この世は華ざかり ビーダマン華鏡
7	スイスイしょうのう舟(県立赤穂高等学校)
8	傘袋ロケットで宇宙へ行こう!(関西福祉大学)
9	実験・発見・サイエンスしよう
10	ゆめはく号がやってくる(県立人と自然の博物館)

スタッフ 海洋科学館運営協力会委員

協力 兵庫県立人と自然の博物館、関西福祉大学生、兵庫県立赤穂高等学校生徒

参加者 市内小学4年生～6年生 62名

赤穂市立海洋科学館の管理運営に関する業務の収支決算書  
(令和5年度分)

(単位:円)

収入

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
海洋科学館管理収入	18,410,000	17,300,823	1,109,177	海洋科学館管理収入
施設利用料収入	3,661,000	3,852,180	△ 191,180	施設利用料収入
合 計	22,071,000	21,153,003	917,997	

支出

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	12,136,000	11,787,144	348,856	職員給 4人
福利厚生費支出	2,165,000	2,011,793	153,207	社会保険料外
小 計	14,301,000	13,798,937	502,063	
物件費				
旅費交通費支出	17,000	8,800	8,200	旅費
消耗品費支出	205,000	199,076	5,924	特別展消耗品外
燃料費支出	50,000	41,741	8,259	ガソリン代
会議費支出	3,000	1,568	1,432	来客賄
印刷製本費支出	161,000	159,293	1,707	特別展ポスター・チラシ印刷外
光熱水費支出	2,989,700	2,662,379	327,321	電気代外
修繕費支出	487,300	487,300	0	消防用設備修繕外
飼料費支出	15,000	14,345	655	展示用魚餌代
通信運搬費支出	239,000	229,678	9,322	電話料外
保険料支出	78,000	77,860	140	自動車損害保険料
委託料支出	2,717,000	2,716,616	384	清掃管理業務委託 1,147,344 展示備品管理業務委託 443,300 建物管理業務委託外 1,125,972
使用料賃借料支出	765,000	733,077	31,923	複写機使用料外
消耗什器備品費支出	20,000	0	20,000	
負担金支出	20,000	20,000	0	兵庫県博物館協会負担金外
雑費支出	3,000	2,333	667	諸雑費
小 計	7,770,000	7,354,066	415,934	
合 計	22,071,000	21,153,003	917,997	

赤穂市立海洋科学館指定管理者自主事業収支決算書  
(令和5年度分)

(単位:円)

収入

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館指導普及事業収入	120,000	112,000	8,000	子ども科学教室参加負担金
赤穂市補助金収入	510,000	488,008	21,992	科学館指導普及事業補助金
合 計	630,000	600,008	29,992	

支出

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館普及啓発事業費				運営協力会事業 125,493 子ども科学教室事業 313,693 夏屋台実験教室 160,822
旅費交通費支出	21,000	20,660	340	旅費
消耗品費支出	99,000	89,126	9,874	教材外
会議費支出	36,000	28,247	7,753	ボランティア賄外
印刷製本費支出	22,500	22,500	0	子ども科学教室記録写真プリント代
通信運搬費支出	6,000	2,550	3,450	郵便料
保険料支出	15,000	14,915	85	ボランティア保険料外
使用料賃借料支出	238,000	237,010	990	移動博物館車「ゆめはく」借上料外
諸謝金支出	192,500	185,000	7,500	講師謝礼
合 計	630,000	600,008	29,992	

## 令和5年度 指定管理者管理運営事業評価シート

### 1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立海洋科学館					
所在地	赤穂市御崎1894番地4					
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団		指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地			終了日	令和6年3月31日
選定方法	非公募		評価実施年	指定期間3年のうち3年目		
施設設置目的	海洋科学に関する知識の普及及び啓発を図り、市民の科学教育の向上に資するため					
主な実施事業	(1) 海洋科学に関する資料、機器及び装置を収集し、展示し、及び利用に供すること。 (2) 海洋科学に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。 (3) 展示する資料、機器及び装置に関する調査研究すること。 (4) 学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (5) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業					

### 2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	R3実績	目標	R4実績	目標	R5実績
a	利用者数	人	30,000	20,908	30,000	22,801	30,000	25,971
b	稼働率	%		70		76		87

### 3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算
収入計	A	20,613,328	21,534,093	21,753,011
指定管理料		17,174,123	17,498,665	17,300,823
利用料収入	C	2,935,595	3,403,975	3,852,180
自主事業収入		503,610	631,453	600,008
その他		—	—	—
支出計	B	20,613,328	21,534,093	21,753,011
事業費		20,109,718	20,902,640	21,153,003
内、人件費	D	13,449,438	13,370,120	13,798,937
内、再委託料	E	2,747,642	2,640,612	2,716,616
自主事業費		503,610	631,453	600,008
事業収入	A-B	0	0	0
利用料比率	C/A	14 %	16 %	18 %
人件費率	D/B	65 %	62 %	63 %
再委託費比率	E/B	13 %	12 %	12 %
・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。				
補足説明				

#### 4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
①サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守している。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
市、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。		B	B	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B	
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	①サービスの履行に関する評価	B	B	
②サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、必須事業を実施している。	A	A
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。		B	B	
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
	利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	B	
総括	②サービスの質に関する評価	B	B	
③安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
	総括	③安定性に関する評価	B	B



所見 (成果、課題等)	<b>【自己評価】</b> 令和5年度はマスコミの取材要請が増え、積極的に受け入れてきた結果、ほぼ毎月のように新聞・雑誌やテレビで取り上げられ、集客に効果を挙げた。また、市内の旅館等にリーフレットやポスターの設置を依頼するとともに、赤穂市観光課・赤穂観光協会・民間団体等への事業協力により、日本遺産を含めた体験型施設としての特色を生かし、本館のPRに努めた。その結果、入館者の増加に結び付いた。 一方、施設設備については、老朽化が進み、実施計画による計画的な修繕として、排煙窓の修理工事ならびに館内照明のLED化工事を行い、緊急修繕として雨漏りの修理を行うなど、一定の改修は進んだが、数年前から点検で早期対応が必要なD判定が出ている自動ドアの修繕については先送りされ、実現には至っていない。 館内の展示機器についても、経年劣化によって不具合を起しているものがすでに複数あり、「調整中」となっている。展示機器の突発的な不具合に対する修理が追い付かず、苦慮している。まずは、このような現状を改善していくことが課題である。		
	<b>【所管評価】</b> 新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、適切な管理運営を行い、特別展を実施するなど、利用者増に努めている。 引き続き、広報やSNSを活用した積極的な情報発信に努め、利用者増への取り組みの充実を図るとともに、利用者の安全確保と、適切な施設管理に努められたい。 また、日本遺産「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂の情報発信に力を入れ、塩の国とともにその魅力向上に努められたい。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価項目の評価が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価項目の評価の内、Cが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。